

ユーキゾール MP

神港有機化学工業株式会社

発行日:2016年04月28日

改訂日:2017年04月26日

バージョン:2.0

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 : ユーキゾール MP

製品コード : SA4W35000

供給者情報

供給者の会社名称 : 神港有機化学工業株式会社

住所 : 兵庫県神戸市東灘区住吉浜町18番地の26

担当部門 : 営業部 (電話番号: 06-6264-0491 FAX: 06-6264-8229)

緊急連絡先情報 : 本社工場(TEL: 078-811-1931)

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理的危険性 引火性液体 : 区分3

健康有害性 急性毒性(吸入:蒸気) : 区分4

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2B

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3(麻醉作用)

(注) 記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

絵表示

(GHS-JP)



注意喚起語 (GHS-JP)

: 警告

危険有害性情報 (GHS-JP)

: 引火性液体及び蒸気

眼刺激

吸入すると有害

眼気又はめまいのおそれ

注意書き

[安全対策]

: 热／火花／裸火／高温のもののような着火源 から遠ざけること。-禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること／アースをとること。

防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／その他機器を使用すること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手などをよく洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面 を着用すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

	ミスト/蒸気/スプレー を吸入しないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。
[応急措置]	<p>: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>気分が悪いときは医師に連絡すること。</p> <p>眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。</p> <p>火災の場合：指定された消火剤を使用する。</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。</p> <p>皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。</p> <p>皮膚を流水／シャワーで洗うこと。</p> <p>飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</p>
[保管]	<p>: 製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。</p> <p>: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。</p> <p>換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>日光から遮断すること。</p>
[廃棄]	: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

成分名	含有量	化審法番号	CAS 番号
プロピレングリコールモノメチルエーテル	≥99%	(7)-97; (2)-404	107-98-2

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置 一般	<p>: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。</p> <p>気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。</p>
吸入した場合	<p>: 気分が悪いときは医師に連絡すること。</p> <p>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p>
皮膚に付着した場合	<p>: 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。</p> <p>皮膚を流水／シャワーで洗うこと。</p> <p>多量の水と石鹼で優しく洗うこと。</p> <p>皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。</p>
眼に入った場合	<p>: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。</p> <p>眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。</p>
飲み込んだ場合	<p>: 気分が悪いときは医師に連絡すること。</p> <p>飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</p> <p>飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。</p>

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂を用いる。

特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 消防水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
消化を行う者への勧告	
特有の消火方法	: 適当な距離から注意して消火すること。 区域より退避させること。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消防を行う者の保護	: 消火作業従事者は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急時措置	: 区域より退避させる。 適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物に触れてはいけない。 回収が終わるまで充分な換気を行う。
一般的な措置	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
環境に対する注意事項	: 漏出した物質の下水や排水溝への流入は、適切な対策なしに行ってはならない。
封じ込め及び浄化方法及び機材	: 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。 乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。 清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。
二次災害の防止策	: 危険でなければ漏れを止める。 全ての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止） 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 着火源を取除くとともに換気を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 容器を接地すること／アースをとること。 皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。
注意事項	: 取り扱い中は適切な全体換気を行い、蒸気濃度が増大することを防止する。
安全取扱注意事項	: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 火花を発生させない工具を使用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。 容器を接地すること／アースをとること。 使用前に取扱い説明書を入手すること。
保管	
安全な保管条件	: 容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。

- 避けるべき保管条件
- : 日光から遮断すること。
 - : 他の物質から離して保管すること。
 - : 熱源から離れたところに保管すること。
 - : 長期間の保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)

許容濃度 (ACGIH) : TWA 50 ppm, STEL 100 ppm

ばく露防止及び保護措置

- | | |
|------------|---|
| 設備対策 | : 適切な換気および密閉の装置を使用する。
取扱いにおいては、局所排気装置を使用する。
作業場所に、緊急時のシャワーおよび洗眼の設備を設ける。 |
| 呼吸用保護具 | : 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | : 保護手袋を着用する。 |
| 眼の保護具 | : 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 保護衣を着用する。 |
| 衛生対策 | : 取扱い後は手などをよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 |

9. 物理的及び化学的性質

形状	: 液体
色	: 無色
臭い	: 特有臭
pH	: 知見なし
沸点	: 119 ° C (101.3kPa)
融点/凝固点	: -96 ° C
分解温度	: 知見なし
引火点	: 32 ° C
自然発火温度	: 270 ° C
爆発特性	: 知見なし
爆発範囲 (上限、下限) (g/m³)	: 知見なし
爆発限界 (vol %)	: 1.48 - 13.74 vol % (150°C)
蒸気圧	: 9 mm Hg (25°C)
相対蒸気密度 (20 ° C)	: 4.6
比重 (密度)	: 0.962 g/cm³ (20/20°C)
粘度(粘性率)	: 知見なし

溶解度

水への溶解度	: 可溶
溶媒への溶解度	: ほとんどの有機溶媒に可溶
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: -0.437 (計算値)

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体及び蒸気
化学的安定性	: 製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。
危険有害反応可能性	: 該当データなし。
避けるべき条件	: 日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発生源
混触危険物質	: 酸、塩基、酸化性物質、還元性物質
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物(CO、CO ₂)

11. 有害性情報**急性毒性 (経口)**

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)
ラットの LD50 値: 6100, 5200, >5000, 5900mg/kg (SIDS(2001))、
7350(ACGIH(2001)), 7510mg/kg(DFGOTvol14(2000))より区分外とした。
LD50 経口 ラット : 5000 mg/kg

急性毒性 (経皮)

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)
ウサギの LD50 値、13000 および 14100mg/kg (SIDS(2001))に基づいて区分外とした。
LD50 経皮 ウサギ : 13 g/kg

急性毒性 (吸入: 気体)

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)
GHS 定義による液体である。
LC50 吸入 ラット (ppm) : > 7559 ppm (Exposure time: 6 h)

急性毒性 (吸入: 蒸気)

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)
ラットの LC50 値 >6 m g /L/4h (>1626ppm) あるいは >24 m g /L/1h (>3252ppm/4h) ((SIDS(2001)) からは区分を特定できないが、マウス雄の LC50 値 : 6038～7559ppm/6h=7395～9258ppm/4h (GLP 準拠 ; (SIDS(2001)) に基づき区分 4 とした。なお、試験濃度が飽和蒸気圧濃度 16435ppm (60.6mg/L) の 90% より低いので、分類には、ガスの基準値 (ppmV) を適用した。
LC50 吸入 ラット (蒸気 : 27.3 mg/1/4h
- mg/1/4h)

急性毒性 (吸入: 粉塵/ミスト)

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)
急性毒性 (吸入: 粉末) : データなし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)
ウサギの皮膚に 24 時間適用したドレイズ試験において明らかな刺激性を認めず、極めて軽度の刺激で皮膚一次刺激指数 2 の結果 (SIDS(2001)) に基づき JIS 分類基準の区分外 (国連分類基準の区分 3 に該当) とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)
ウサギを用いた複数の試験でいずれも刺激性が低い、または軽度との結果(SIDS(2001))に基づき、区

分 2B とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)

皮膚感作性

: モルモットを用いた皮膚感作性試験(modifiedMaguiretest)で感作性なし(not sensitizing)の結果(SIDS(2001))が得られているが、OECDで承認された試験法でなく、陽性率など詳細も不明なため分類できないとした。

呼吸器感作性

: データなし。

生殖細胞変異原性

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)

マウスに腹腔内投与による骨髄赤血球を用いた小核試験(体細胞 *invivo* 変異原性試験)での陰性結果(SIDS(2001))に基づき、区分外とした。なお、*invitro* 試験では、エームス試験、チャイニーズハムスターの細胞株(CHO、V79)を用いた遺伝子突然変異試験、染色体異常試験および小核試験のいずれも陰性(SIDS(2001))であった。

発がん性

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)

ラットおよびマウスの雌雄に2年間吸入ばく露(OECD TG453:GLP)により、ばく露に関連する腫瘍発生頻度の増加は両動物種雌雄のいずれの組織においても認められなかった(SIDS(2001))ことから、区分外とした。

生殖毒性

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)

マウスに経口ばく露、ラットには吸入ばく露による2世代生殖試験(SIDS(2001))において、ラットの高用量(3000ppm)群でのみ発情周期延長、受胎率低下、仔の生存数・同腹仔数の低下などが認められたが、この所見については同用量で親動物に現れた鎮静症状の持続や対照群に比べ21%の体重減少などの著しい毒性に伴う影響として記述されているので、分類の根拠としなかった。その他の用量およびマウスの2世代試験では性機能および生殖能に対する悪影響は認められていない。一方、ラットおよびマウスの2世代試験では性機能および生殖能に対する悪影響は認められていない。一方、ラットおよびウサギの器官形成期に吸入ばく露した試験(SIDS(2001))、また、ラット、マウス、およびウサギの妊娠期間に経口ばく露した試験(SIDS(2001))では、一部の試験で骨化遅延を認めたのみで、催奇形性を含め仔の発生に対する悪影響は見出されなかった。以上の結果から、複数の動物種と複数のばく露経路による試験でいずれも生殖および発生に対する悪影響が示されなかつたことから区分外とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)

急性毒性試験における麻酔作用に関連する症状として、ラットの経口投与では傾眠、協調障害性歩行、運動失調(ECETOC95(2005))、吸入投与では横臥位、無反応、中枢神経抑制(SIDS(2001))、また、ウサギの経皮投与では軽度の脱力、嗜眠から深麻酔の状態まで程度の異なる麻酔兆候(ECETOC95(2005))がそれぞれ記載されている。これらの結果に基づき、区分3(麻酔作用)とした。なお、ヒト被験者を用いた試験(SIDS(2001)、DFGOT vol. 14(2000))で鼻および咽喉への刺激性が報告されているが、試験物質が有する強い臭気の結果としてデータの歪曲の疑いが持たれているので採用しなかった。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

(プロピレンジリコールモノメチルエーテル)

ラット、マウスおよびウサギに高濃度の吸入ばく露により一過性の中枢神経抑制、肝臓に軽度の組織学的变化などが認められている(SIDS(2001))が、13週間(6時間/日)吸入ばく露による各試験のNOELまたはNOAELは、ラットで300ppm(1.11mg/L)および1000ppm(3.68mg/L)、マウスで1000ppm(3.68mg/L)、ウサギで1000ppm(3.68mg/L)であった(SIDS(2001))。NOELがいずれもガイダンス値範囲を超えており、吸入経路では区分外に該当する。また、経口および経皮投与の場合も、ラットの35日間経口投与試験のNOELが919mg/kgbw/day(90日換算:357mg/kgbw/day)(SIDS(2001))、ウサギの90日間経皮投与試験のNOELが2mL/kgbw/day(1840mg/kgbw/day)(SIDS(2001))といずれもガイダンス値範囲を超えており、区分外に該当する。以上より、吸入、経口および経皮の3経路とも区分外に該当していることから、モデルGHS分類として区分外とした。

吸引性呼吸器有害性

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

データなし。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

魚類（ニジマス）での96時間LC50>1000mg/L (EU-RAR, 2006)、甲殻類（オオミジンコ）での48時間EC50>500mg/L (SIDS, 2003, 他)、藻類（Pseudokirchneriella subcapitata）での96時間EC50>1000mg/L (EU-RAR, 2006)であることから、区分外とした。

LC50 魚 1 : 20.8 g/l (Exposure time: 96 h - Species: Pimephales promelas [static])

EC50 ミジンコ 1 : 23300 mg/l (Exposure time: 48 h - Species: Daphnia magna)

水生環境有害性(長期間)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

急性毒性区分外であり、難水溶性ではない（水溶解度=1000000mg/L (PHYSPROP Database, 2009)）ことから、区分外とした。

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

BCF 魚 1 : < 2

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
この製品、容器は適法な設備、方法で処理するか、もしくは正式認可を得た処理業者に内容を明確に開示して処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号/国連分類

国際規制

国連番号 : 3092

品名 : 1-メトキシ-2-プロパノール

危険物輸送分類 : 3 - 引火性液体類

容器等級 : III

国内規制

緊急時応急措置指針番号 : 129

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

その他の情報 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）

	プロピレンジリコールモノメチルエーテル 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） プロピレンジリコールモノメチルエーテル 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） プロピレンジリコールモノメチルエーテル
化学物質排出把握管理促進法 (P R T R 法)	: 非該当
消防法	: 第4類引火性液体、第二石油類水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
大気汚染防止法	: 挥発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） プロピレンジリコールモノメチルエーテル
船舶安全法	: 引火性液体類（危規則第2、3条危険物告示別表第1）
航空法	: 引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 プロピレンジリコールモノメチルエーテル 輸出貿易管理令別表第1の16の項 プロピレンジリコールモノメチルエーテル 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認） プロピレンジリコールモノメチルエーテル
港則法	: その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2） プロピレンジリコールモノメチルエーテル
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	: 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの（平10三省告示1号） プロピレンジリコールモノメチルエーテル

16. その他情報

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上ご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。